

# 3協議会設け活動開始

## 近未来コンクリート研究会設立

代表理事に氏  
河十



十河茂幸代表理事

十河茂幸元広島工業大

学教授を中心に設立準備を進めてきた「近未来コンクリート研究会(NFCA)が4月20日に広島市内で設立総会を開き、発足した。十河氏が代表理事を務め、事務局長(理事)に徳納剛コンクリートメンテナンス協会会長が就任。「鉄筋コンクリート(RC)構造物

の長寿命化技術研究協議会」と「初期ひび割れの抑制技術研究協議会」構造物の生産性向上技術研究協議会」を設立して、具体的な検討を進めていく方針である。

日本国内で構築されたコンクリート構造物の総量は100億mと推計され、そのほとんどは戦後に建設された。築後70年に達したものをはじめ、高度経済成長期に建設されたインフラ構造物が一斉に高齢化してきている。こうした中で同研究会は「インフラを適切に

維持管理することを推進する支援をすることもに、これから建設されるコンクリート構造物を長寿命化するための研究」を行うことを目的に発足した。

同研究会の規約では「目的(第3条)として①分業化した業種間の連携を強化して、コンクリート構造物の長寿命化を図るためのネットワークを構築すること②会員の自主的な経済活動を基に各会員の地域への貢献を図ること③会員相互扶助の精神にもとづき会員の

地位向上につとめること④研究会の運営は非営利目的とすること」の4項目を規定している。これらの目的を実現するために「関連業種間の意見交換を行い、課題を抽出する事業」「関連する団体でテーマごとに協議会を開催する事業」「会員同士の親睦を深め、協力体制をとる為の事業」「各官庁

・設計事務所との意見交換等を行う為の事業」「各団体技術者の、技術向上を図る為の事業」その他本会の目的を達成する為に必要な事業」を規約第4条(事業)に規定し、取り組んでいく方針である。



4月20日に設立総会開催

の役員でスタートした。

代表理事〓十河氏▽理事〓奥山正彦日本建設業連合会中国支部事務局長、延藤照章広島県建設業協会連合会事務局長、甲斐英樹広島県土木協会専門員、澤嗣郎エイト日本技術開発常勤監査役、中河原達真リ・ユーステックノ研究所代表取締役、古井博広島県生コンクリ

- 委員長▽事務局長・理事
- 〓徳納氏▽事務局〓峯松昇司広島県コンクリート診断士会理事、山脇浩司
- 広島カステクノ・サーピスエンジニアリング事業部土木課長、佐々木大輔
- 広島カステクノ・サーピスエンジニアリング事業部土木課係長、植村大樹
- 福徳技研マテリアルグループ
- 〓ト工業組合
- 理事・技術委員長▽顧問〓
- 竹田宣典広島工業大学教授
- 坂本英輔
- 広島工業大学准教授▽顧問
- 理事〓江良和徳コンクリートメンテナンス協会技術